



NO. 921
 発行
 2017年
 7月15日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 齊藤 仁司
 編集責任者
 教 宣 部

うちはブラックだから

エルダー社員の出向先会社の現状について企画・特集します。
 小山哲夫さんが加茂駅に復職しましたが、加茂駅が委託化になったため、小山さんは現職出向で中越通運へ出向しました。

厳しい労働環境だった

中越通運の厳しい労働環境の中で小山さんは持病のリユウマチですが、何とか業務を続けていました。
 しかし、身体の状況が極めて厳しく、両手の関節も腫れてしまい状況を医者に相談したら、辞めろといわれ退職することになりました。



会社は軽作業と判断

会社は、中越通運は女性従業員も作業していたので、軽作業と判断し持病のある小山さんに説明、彼の受託後、発令となりました。



すべて自分で準備

中越通運の実態について、小山さんは9時から18時が勤務時間で土曜・日曜日が休み。作業服は貸与されず、作業に必要なものは自分で準備しなければならぬ。
 小山さんが準備したものは、滑り止めのついた手袋か軍手・カッターナイフ・ボールペン・安全靴など。
 作業に必要なものと、自分の身を守るものは自分で準備しなければならない。

エルダー社員の出向先会社の実態について

地本定期大会の開催
 9月16日 (土)
 地本事務所
 10時開会



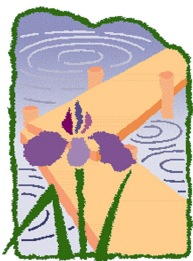
一日に1万歩から2万歩

作業は不定形商品(異形品・長物・重量のある物・袋物など)を各店舗(46店舗)にハンドリフトを使って仕分けし配分する作業。かなり厳しい作業密度で一日に1万歩から2万歩近く歩いて作業をしている。多い日は2万8千歩になりました。



買取りは無いのか

年休の請求について、センター長は「JRは皆さん有給休暇を取るのか?」と言ってきたので、小山さんは「ええ、ほとんど取るとしています」と答えました。
 センター長は「買取りはないのか?」というので「あまり無いと思う」と答えたと、センター長は「うちはブラックだから」と言いました。



両手の関節腫れ

4月、約一ヶ月だったが、小山さんの身体は、両手の関節が腫れて痛いことや、肩や肘の関節も痛いことを医師に説明、医師から仕事を辞めるように言われ診断書を書くからと言われました。

地本は緊急申し入れ



地本は7月3日、緊急申し入れを行いました。

彼でも対応できると判断

会社の回答は、中越通運について女性従業員も作業していたので軽作業と判断したこと。
 着任した4~5月は作業繁忙期だが、1年をトータルすると早上がりしている週もあると聞いていたので、彼でも対応できると判断した。

会社は現状から軽作業の判断は難しい。会社と組合のギャップはあると思う。と回答しました。

●裏面へ続きます。



定着しない辛い職場だ



組合は、エルダー出向先職場は軽作業と言いつながら通院して従事し尚且つ人が定着しない辛い職場だ。中越通運への出向者は7人中その内の辞退者が小山さんを含め3人で辞退予定者が複数存在している。同じ年度での再幹旋は無いか。に対し会社は基本的には無いと回答。

第二の小山さんを出すな

中越通運で、作業に関わる必需品の準備や安全に関わる安全靴・作業服などの貸与について会社は確り伝えていくと回答。会社は結果として、この様な事態になってしまった事は、重く受け止めている。と回答しています。



小山さんの願いでもある「第二の小山さんを出すな」は会社との協議で一定の歯止めは掛かったと思われる。中越通運の検証を続けることを提起し整理を図りました。

問題点の改善を



エルダーの出向先会社の労働条件など多くの問題が発生しています。出向先・幹旋する会社数が極めて少ないことや出向先の労働条件や労働環境など仕事につくまで具体的にわからない状況が多くあります。

エルダーには厳しい労働環境



せっかく出向しても、厳しい労働環境で仕事が続けられず退職するという実態があります。エルダー出向者は、だいたい60歳以上の社員が対象になりますので労働条件や年間休日数、労働時間などで仕事を続けていけない実態になっ

てしまいます。

地本として、集会や定期大会などで組合員の意見、報告を出していただき全体の議論、意見から今後の具体的な取り組みを進めていきます。この問題について、組合員のご意見を地本教宣部にお寄せ下さい。よろしくお願ひします。



編集後記

7月に入りました。毎日、暑い日が続いています。梅雨入りが遅かったため梅雨明けも遅くなるのでしょうか。

最近の天気は、局地的に大雨になります。昔みたいに、ちようど良い雨の降り方にならないですね。

福岡県、大分県、長崎県など九州は大雨で大変・大きな災害になっています。

毎日、連日報道されています。一日も早い復旧・復興を願っています。



今月から各定期大会が開催されます。今年には役員選挙です。地本大会も9月に開催されます。新潟地本は組織拡大に向けた具体的な取り組みを進めたいため大会で議論して更に意思統一を図り取り組みを進めていきましょう。

国労東日本本部 機関紙等の表彰について

○目的

地本・支部及び分会等における機関紙発行など教宣活動に功績があった機関紙等の表彰を通じて教宣活動の向上、ひいては組合活動の強化に資する。

○対象

今年度中（2016年7月1日～2017年6月30日）に次のいずれの事由に該当するものを表彰する。

●最優秀表彰

- ①通算500号に達した機関紙誌。（すでに達して、継続して発行されているものも含む）
- ②今年度中に50号を発行した機関紙誌。
- ③特別な雑誌の発行、長年にわたる学習会の継続など、大きな功績のあった取り組み。

●優秀表彰

- ①今年度中に30号を発行した機関紙誌。
- ②スポーツ・レクリエーションなどサークル活動を通じて組合の団結強化に大きな功績のあった取り組み。

